



特集 1

つながる！ 広がる！ 多文化共生の地域づくり



武蔵野市では、国際平和・多文化共生に貢献する取り組みとして、さまざまな活動が行われています。市内での国際交流の中心を担っているのが、武蔵野市国際交流協会（Musashino International Association/MIA）です。

30年以上も前から市民が主体的に活動を続け、地域の多文化共生に大きな役割を果たしています。



MIA（公益財団法人 武蔵野市国際交流協会）とは？

平成元（1989）年に設立され、市民主体の国際交流、外国人市民の支援活動を行っています。ほとんどの事業を、外国人を含む会員のボランティア活動によって運営しているのが特徴です。

MIAの主な事業

生活支援・コミュニケーション支援

文化背景や日本語力に配慮しながら、外国人が地域で安心して生活していけるようサポートしています。

- 日本語教室
- 通訳つき専門家相談（法律／心理）
- 留学生むさしのファミリープログラム
- 生活情報の提供（9言語）
- 防災に関する啓発活動
- 通訳者派遣／翻訳



多文化共生の地域づくり

地域の外国人による、言語や家庭料理などの文化紹介を後押しし、外国人と地域の人をつないでいます。

- 外国人自主企画事業
- こども国際交流クラブ
- 地域の国際理解の推進
- ボランティア活動の推進
- 地域団体との連携



公益財団法人 武蔵野市国際交流協会 〒180-0022 武蔵野市境 2-14-1 スイグビル 9F
電話：0422-36-4511 E-mail：mia@coral.ocn.ne.jp 開館：火曜日～土曜日／午前9時～午後5時

国際交流で 生まれる地域の輪

日本人も外国人も地域の一員として、
ボランティア活動を通じて、
多文化共生のまちづくりを進めています。

わたしたち国際交流を
はじめています！

※登場する人物は
記事のために架空
で設定しています。



市内在住のネパール人
ティミさん家族



市内在住の日本人
若林さん家族



MIA職員
鈴木さん

グループ活動を
一緒に楽しみ
ましょう！

STEP 1

ACTION ティミさん

日本語を覚えたくてMIAに相談。職員
の鈴木さんが、「日本語教室」のグルー
プ活動を紹介してくれました。

STEP 2

ACTION ティミさん

グループ活動のおかげで日本語が上達！ボラ
ンティアの若林さんとはお友だちに。若林さ
んのように私も地域の中で何かお手伝いをし
たい。そこで鈴木さんに相談したところ、ネ
パール料理教室（「外国人自主企画事業」）の
提案が。ぜひ挑戦したい！

ティミさんの友だちがMIAへ…。
若林さんは新しい活動に…。
こうして地域の輪は
循環して広がります。

Musashino International Association

STEP 4

ACTION ティミさん

料理教室などでの文化交流で日本の友
だちも増えて毎日が充実。市内に住ん
でいるネパール人の友だちにもMIA
を紹介したいな。

ACTION 若林さん

料理教室の参加をきっかけに、いろんな文化に興味津々。
留学生を家庭に迎える「留学生むさしのファミリープログ
ラム」への参加を家族に相談してみよう。

STEP 3

ACTION 若林さん

ティミさんの料理教室に参加。ネパール料理
がこんなに美味しいなんて新発見！もっとネ
パールについて知りたくなりました。



ケフィン ヨハルさん

チェ スランさん

野坂 圭子さん

思いやりにあふれた 多文化共生のまちづくりのために わたしたちができること

MIAでは日本人、外国人を問わずたくさんのボランティアが活躍しています。留学生交流、子育て支援などさまざまな活動に参加している3人が、MIAや多文化共生のこれからについて語り合いました。



MIAを通じて広がる 支援の輪

野坂 MIAを知ったのは、25年ほど前。たまたま目にした市内の掲示板でした。ずっと外国の方の役に立ちたいと思っていたこともあって活動に参加しました。

チェ 私は長男を出産後、日本語を勉強できる場所を探していて、子どもを連れて行けるMIAの日本語教室に参加したのが最初ですね。

野坂 MIAでは、留学生のホームビジットを受け入れる「留学生むさしのファミリープログラム」を中心に、日本語学習支援ボランティアなどに参加していますが、お二人はどんな活動をしていますか？

チェ お世話になった日本語教室の保育ボランティア、外国人のためのパパママサロンの運営など、子育て支援のボランティアを中心に活動しています。
ケフィン 市内の企業でエンジニアとして働きながら、外国人が専門家と相談するときの通訳を担当する語学ボランティアをしています。ほかにも自分に合うボランティア活動はないかとMIAの方に相談して、武蔵野市民社会福祉協議会を紹介していただき、フー



チェ スランさん

韓国出身。保育ボランティアなどとして活躍し、外国人のための育児サロンの企画・運営も手掛ける。

ドバンクむさしでのボランティアも始めています。

チェ 私は今、市内の幼稚園で働いているのですが、来日した当時は日本語が話せず、日本で働くなんて考えられなかったです。でもMIAで日本語を覚えてボランティア活動を始めてから、保育がとても楽しくて。自分にも自信がつき、働いてみようと思えるようになりました。

野坂 チェさんのようにMIAで日本語を覚えた後に、地域に貢献している外国の方がたくさんいるように思うのですが、ケフィンさんもそうですか？
ケフィン 日本語は市外の学校で勉強しました。MIAを知ったのは市内の企業に就職してからです。私は、空いている時間をボランティア活動で有意義に使いたかったので、市民の皆さんの役に立てる場を提供してくれるMIAにはとても感謝しています。市に住んで

いるだけだと、なかなか市民の方と触れ合うことがないので。

野坂 活動を通じているんなと出会い、関係が広がっていくのはうれしいですよ。

ケフィン 私にとってボランティア活動がこの街や人に溶け込むチャンスになっていきます。

野坂 日本人の私にとってもこの活動で得ることがたくさんあります。思い出深いのは、ずっと交流を続けている外国人家族が日本国籍を取る時に、その家族の名字を考えるお手伝いできたこと。とても貴重な経験でした。

●●●
日本人も外国人も
「同じ武蔵野市民」

野坂 常々、MIAの活動を日本人の市民の方にもっと伝えていくことが大事だと思っているんですね。たとえば、



ケフィン ヨハルさん

インドネシア出身。外国人相談事業の語学ボランティア、学校での国際理解授業などで活動中。

この『季刊むさし』にもMIAや外国出身の方を紹介するページがあったらいいなと思うんです。もしそういうページがあったら、お二人はどんなことを紹介したいですか？
チェ 韓国のことわざなんてどうでしょう？ことわざには国民性が表れるので、韓国と日本の違いが見えて面白いかもかもしれません。
ケフィン 私はインドネシアのおすすめ観光スポットを紹介したいです。日本の方は、「バリ島」は知っていますが、インドネシアにあることを知らなかったりするので、もっとインドネシアをアピールしたいです。
チェ 母国のアピールなら、武蔵野市の友好都市に、ソウル特別市江東区（カンドング）と忠州市（チュンジュシ）がありますが、もっと韓国のいろんな都市の友好都市になってほしいです。



野坂 圭子さん

長年「留学生むさしのファミリープログラム」で活動し、日本語学習支援、外国人の防災啓発活動などにも携わる。

ケフィン インドネシアの都市と武蔵野市が協力して、お互いに刺激し合えるようなイベントができたらうれしい。もし実現したら、もちろん私も関わりたいですし、橋渡し役として交流をサポートしたいです。

野坂 すてきなアイデアですね。誌面でもイベントでも、そういう情報を伝えることで、武蔵野市にはこんないろいろな文化を持つ人がいるんだと知ってもらい、日本人の市民の方々に「同じ市民」という感覚を持つて接していただきたいんです。

チェ 野坂さんがおっしゃったように、「支援をする／される」という関係ではなく、みんなが同じ市民として参加するような活動にしていけたら、もっといいのと思います。

野坂 「同じ市民」と言っても、それは外国の方が日本に「同化する」ことではなく、一人ひとりが持っている文化を理解して尊重し合い、理解が難しい時は、「違いがあること」を認め合えることが大事ではないでしょうか。お互いが尊重し合って、思いやりを持って武蔵野市で安心して暮らしていけたらいいですね。

市が目指す多文化共生とは

武蔵野市は今年3月、新たに「武蔵野市多文化共生推進プラン」を策定しました。

このプランは、国が目指す多文化共生の地域づくりの考え方に基づき、市やMIAなどによる多文化共生の取り組みをまとめ、今後の市としての考え方や方向性を示したものです。プランに基づく施策を通して、これまでに築かれた市民の相互理解を大切にしながら日本人も外国人も安心して暮らせるまちを目指します。

基本的な考え方

多様性を認め、お互いに支え合う
誰もがいきいきと暮らし、誇りを持てるまちへ

基本目標

- 1 誰もが暮らしやすい地域共生社会の形成
- 2 生活を支えるコミュニケーション支援と情報発信の強化
- 3 誰もが安心して地域生活を送るための環境整備

武蔵野市多文化共生推進プランの詳細はこちら



武蔵野市
国際交流協会 (MIA)
コーディネーター
こもだ ようこ
薦田庸子さん



MIAでは、外国人と日本人の区別なく、一緒に地域を良くしようという思いを原動力に、たくさんの外国人会員を含めたボランティアが主体的に活動をつくり上げています。MIAは地域のみなさんの「出会いの場」です。イベントやボランティアへの参加を通じて、さまざまな文化の人と出会い、交流を楽しんでいただきたいですね。

市民部
多文化共生・交流課
おおく ぼいずみ
大久保 泉さん



多文化共生の地域づくりには、市民の相互理解がとても重要です。これまで30年以上にわたり、MIAは市民主体でその役割を担ってきました。プランの策定を機に、まずは多文化共生にあまり関心のない方にも多文化共生を知っていただくきっかけをつくり、MIAの活動のような支え合いの輪が広がっていくことが大切だと考えています。